

元気に戻ってきてね

飯野小5年生 サケの稚魚放流

入善 入善町飯野小学校の5年生約40人がきのう、黒部川にサケの稚魚を放流して、大きく成長して帰ってくるように願ったよ。

黒部川内水面漁業協同組合は毎年、採卵からふ化、稚魚の育成、放流までの養殖事業に取り組んでいるんだ。放流活動は、地元の豊かな自然と生き物について知ってもらうため、漁協が子どもたちを招いて行ったそうだよ。

子どもたちは組合員から、海に出て再び川に戻るサケの特徴を聞いた後、5掬ほどの稚魚がいっぱい入ったバケツを受け取ったんだ。「元気に戻ってきてねー」と大きな声を掛けながら、計2万匹を放したぞ。



ブン大を探せ!



サケの稚魚を放流する子どもたち

漁協によると、稚魚は3～5年後に体長70～80掬、重さ4～6キロになって帰ってくるんだって。みんなも、やがて大きくなって都会に行ったとしても、サケのように古里のことを思い出したり、戻ってきたりしてほしいな。

【webunに動画と写真4枚】